第 8 回 野田中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成28年2月8日(月) 19時30分～20時35分
場所	野田市民館
出席者	委員 (17名) 河合熙人、鋤柄高継、伊藤啓治、河辺禎人、鋤柄行男、安藤智秀、菰田 勅、 太田めぐみ、白井善昭、河合成典、藤井寿充、大竹加納江、林由香里、高橋千秋、 本多邦彦、木田 剛、山本克仁 オブザーバー(2名) 鈴木嘉弘、杉浦大和 事務局 (6名) 前田教育部長、鈴木努教育総務課長、三竹教育企画室長、鈴木欽也学校教育課長、 大羽経営企画課長、清水教育企画室主任
欠席者	なし
傍聴者	8名
委員長	夜分お疲れのところ、またお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。 ただいまから第8回野田中学校統合準備委員会を開催いたします。 それでは、早速ですが、初めに報告事項(1) 閉校式について、野田中学校の木田校長先生から報告をお願いいたします。
野田中学校長	野田中学校の閉校記念式典について、御報告いたします。 お手元の資料1をごらんください。 6月4日に校区と相談の上、野田中学校閉校記念式典の実行委員会を立ち上げて、閉校記念式典の具体案について詰めてまいりました。 12月8日、第2回の閉校記念式典の実行委員会を開催しました。資料1に基づいて、簡単に説明させていただきます。 閉校記念式典の開催日は、平成28年3月15日火曜日で計画しております。 この日の大きな流れは、式典に御列席いただく方々の受付を13時から13時20分ぐらいでさせていただき、13時半から1時間程度、体育館で閉校記念式典を行います。そこで20分ほど間をあけて、閉校に伴う臨時の中学校PTA総会を持つ予定です。内容は、おおむね20分から30分程度の見通しで考えております。その後、校区主催行事の野田中学校思い出の会を1時間程度開催する予定です。 具体的内容について、資料1のうち式典内容をごらんください。 一番上の四角の部分が第1部の閉校記念式典になります。こちらは中学校が主体となって企画、運営するものです。 大筋の中身は、開式のことば、国歌斉唱、閉校記念式典実行委員長あいさつ、来賓あいさつ、来賓紹介、校長あいさつ、生徒発表、校歌斉唱、閉式のことば、このぐらいの流れで1時間程度の中身を考えております。 御来賓としましては、教育委員会の教育長から御挨拶をいただけると聞いておりますので、来賓あいさつは教育長お1人をお願いする予定です。

7 番の生徒発表につきましては、69 年目を迎えている本校の歴史を振り返る格好で、主に 2 年生の生徒が総合的な学習の時間に追求してきた調べ学習をもとにしながら、本校の歴史を振り返る場面、また現在の 1 年間の中学生の学校生活について紹介する内容を入れ込んで、生徒発表を考えていきたいと思っています。おおむね 20 分程度を考えております。その後、全校合唱を披露する予定です。

この式典が終わりましたら、この式典のみの御来賓の方もいらっしゃると思いますので、外部からお招きした御来賓の方々をお見送りし、生徒は一たん教室に戻り、この後の臨時 P T A 総会へとつないでいきます。

総会の内容については、資料の 2 つ目の四角の部分をごらんください。

臨時 P T A 総会が終わりましたら、今度は地域の方々、同窓の方々の受付をしながら、校区の主催行事、野田中学校思い出の会へと移っていきます。

こちら、パワーポイント、プレゼンテーションなどを使った発表を行ったり、あるいは同窓の方、御卒業の地域の方々が出し出を語って発表したりする場面など、さまざまに盛り込んでいただいて、懐かしい中学校の思い出に浸れる時間を計画していただいております。1 時間程度と伺っておりますが、懐かしい思い出に花が咲けば、若干延びることがあるかもしれません。学校としては、この機会にお越しいただいた方々ばかりですので、おおむね 17 時ごろをめぐりにはしておりますけれども、学校の施設も公開して、自由に参観していただきたいと考えているところです。

裏面をごらんください。

この閉校記念式典に合わせまして、学校では配付物を現在作成中です。前年度、統合によって閉校した 3 小学校に倣い、閉校記念のリーフレットとクリアファイルを作成しているところです。お越しいただいた方々にお配りする計画です。

なお、当日、中日新聞社のドラゴン号という車で、A 3 判片面刷りの閉校記念式典の号外をその場でつくっていただいて、校区主催行事、野田中学校思い出の会の途中ぐらいで、その号外をお越しになった皆様にお配りできたらいいなと考えています。

5、式典に御列席いただく方々についてですが、市と調整しました結果、今のところ、市議会議長、東三河教育事務所長、市議会議員、教育長、教育部長、教育総務課長、学校教育課長をお招きする予定です。

また、野田中学校の閉校、統合に絡んで、統合先の田原中学校長、それから校区一体となってさまざまなことを進めておりますので、野田小学校長、野田保育園長も御来賓としてお招きする予定です。市からは、事務関係ということでお手伝いいただける方も御出席いただけると伺っております。

また、校区からは、自治会の関係者として 60 名程度の方々が御出席いただけると伺っております。

歴代の校長先生をお務めになられた方々の中で、今 8 名の方が御存命ですので、御出席いただきたいということで、先日、御案内を発送したところです。

同様に、歴代の P T A 会長で御存命の方々が 34 名いらっしゃいますので、こちらの方々にも御出席をお願いする御案内を差し上げたところです。

	当日は、3年生からも、卒業式は終わった後だけれども、ぜひ自分たちも式典に参加したいという要望が出ておりますので、卒業生まで含めまして、平成 27 年度の野田中学校生徒 92 名が参加予定です。 また、保護者の方におかれましては、閉校記念式典の中で生徒の活動発表もありますし、引き続き格好で臨時 P T A 総会も開催予定ですので、御都合のつく保護者の方には、ぜひ式典に参加していただきたいと御案内してあります。 職員も含めまして、当日、200 名から 270 名程度の方が、この閉校記念式典に御参加いただけるという見込みを立てているところです。 6、予算につきましては、リーフレット、クリアファイル等は、市の予算で準備を進めているところです。 7、備考欄をごらんください。 臨時 P T A 総会につきましては、先ほど御説明した内容ですので割愛いたします。現在の予定を列記しておきました。 先週、田原中学校の御好意で、入学説明会に、野田中学校の 1、2 年生が保護者とともに参加しました。例年、来年中学校に上がることになる小学校 6 年生と、その保護者を対象に行われる入学説明会ですが、野田中生に関しては、中学校生活の概要を御案内いただくということで、特別なお計らいをいただいて、保護者ともに出席をしてきたところです。 それから、今週、授業参観、薬物乱用防止教室などを行う折に、時間があれば、統合に向けての取り組みについて、御案内する予定です。 中学校の卒業式は 3 月 4 日、修了式は 3 月 24 日予定です。 閉校に伴い、野田中学校で使っている備品等を、使えるものは田原中学校へ送ることになっておりますが、物品の搬出予定についても定まっております。第 1 期は、既に 12 月 24 日に搬出を終えておりまして、第 2 期、第 3 期が 3 月 18 日、3 月 23 日予定です。 春休み中につきましては、書類等、まだ残っているものなどを運び出し、そこまで一たん区切りをつけますが、4 月以降、学校が動き出した後で、田原中学校が、やはりこういったものももう少しあったほうが子どもたちの指導に生かせるというのがあれば、4 月以降にも若干搬出するものが出てくる予定です。 図書館の本につきましても、昨年来、現在の蔵書、それから新版の蔵書も含めて、田原中学校と調整しながら整理しておりまして、2 月 29 日に、蔵書は田原中学校へ搬出予定です。 また、ブラスバンド部等で活用している楽器なども、3 月 26 日以降、田原中学校と日程を調整した上で搬出します。 閉校に伴って不要物品等も極力廃棄したいということで、これは 3 月 23 日以降、今、業者と調整しながら廃棄物品の整理に取りかかっている状況になっております。 以上、概要について、簡単に説明させていただきました。
委員長	ありがとうございました。

	閉校記念式典の実施計画（案）について、説明いただきました。 御意見、御質問等ございますか。 特にないようですので、次に（２）の統合準備委員会のまとめとして、野田中学校統合準備委員会の協議結果について、事務局から報告をお願いいたします。
事務局	野田中学校統合準備委員会の協議結果まとめを報告させていただきます。 平成 26 年 5 月の第 1 回目から、今まで 8 回開催させていただきまして、主に通学体制のことを協議してまいりました。皆さん、ありがとうございました。 統合準備委員会の協議項目 1 の通学体制というところですが、通学の基本方針といたしましては、「路線バス、ぐるりんバスを使用して通学する」ということで、登校時の増便分、最終下校時に 1 便追加して運行する、また、通学定期券の配付、そういったことを中心に協議してまいりました。こうした内容で、4 月からはスタートさせていただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。 閉校記念行事につきましては、木田校長先生に御説明いただいたとおりです。 3 番目の学校施設跡地利用につきましては、教育委員会と市の担当部局として、平成 28 年度以降も、どういう使い道があるのかなどを考えていきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思います。 あと、4、その他につきましては、統合準備委員会の設置、推進協議会の設置及び進捗状況ということで、①交流検討会、②P T A 統合検討会、③閉校行事等検討会という三つの検討会で協議してきております。 この後、検討会の状況については、先生方から御報告していただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。
委員長	ありがとうございました。 それでは、初めに交流検討会、田原中学校の山本校長先生からお願いします。
田原中学校長	資料 2 の 2 ページの交流検討会の報告をさせていただきます。 まず生徒同士の交流ということで、2 学期に合唱コンクールのリハーサルの見学を行いました。野田中学校の 1 年生と 2 年生に来ていただいて、私たちの田原中学校の合唱コンクールの見学をするのと同時に、野田中学校の生徒も合唱を披露していただきました。大変自信に満ちた、意気込みが伝わってくる合唱で、田原中学校の生徒も非常に感激する合唱がありましたので、迎える側としても、頑張ってお迎えをしなければならぬとの思いになりました。 それから、生徒会の主催行事が 3 月 16 日にございます。田原中学校と野田中学校が校歌を一緒に歌う活動をすることによって、次の年度につなげていく気持ちを高める会になるのではないかと考えています。 この折に野田中学校の 1、2 年生は、実際にバスを使って田原中学校に来る予定です。そして、帰りもバスを使って帰っていくというような通学の練習も兼ねて行う予定です。 部活動についてですが、部活動の見学会を 11 月 16 日に行った後、資料のような日程で、第 1 希望と第 2 希望の部活動の体験を行いました。大変和気あいあいと、それ

	ぞれの部活動で一緒に活動することができて、生徒も顔見知りになり、来年度に向けてスムーズなスタートができるのではないかと考えています。 部活動については、2月中におおよその部活動を決定します。基本的には、田原中学校としては、第1希望を優先に考えるということで進めてまいります。4月初めまでには、準備するものについてはお知らせし、そして4月のスタートと同時に部活動が始められるように準備をしてまいります。 部活動については、野田中学校の修了式後から田原中学校が始まるまでは、基本的には一緒に部活動をする事はないという方向で考えています。新しく統合した後で一緒に部活動を始めていくようにしていきたいと考えています。 その他、田原中学校では学校公開日もありますので、その折に野田中学校の保護者の方にも学校を見学していただくように依頼し、第1回目には多数の保護者の方に来ていただいております。2月4日に田原中学校の入学説明会を行いまして、先ほど説明がありましたように、中学校1年生、2年生、そして小学校6年生に、田原中学校の様子の説明を行いました。このような活動を通して、新学期に期待を持って田原中学校に通っていただけるように、今後も交流等を進めていきたいと考えています。 以上です。
委員長	ありがとうございました。 では、次にPTA統合検討会の報告を、野田小学校の本多校長先生、お願いします。
野田小学校長	PTA統合検討会につきましては、備考欄にありますように、昨年度、3回の検討会を持ちまして、本年度に入り、4月17日に野田中学校が、4月24日に田原中学校でPTA総会がそれぞれ行われ、規約の改正の提案、承認が行われております。 その後、野田中学校のPTAで、特に2、役員選出の部分について検討が行われて、次のように決まってきたということのみ報告させていただきます。 来年度からの田原中学校へのPTA委員につきましては、野田小学校区より2名の運営委員を選出します。それと、5名の地区委員が選出されます。5名の地区委員の地区割とでもいいですか、五つのブロックに分けて、次のような案で進めていただいております。 ブロック1が、芦、南。ブロック2が、彦田、雲明。ブロック3が、保井、市場、北海道、今方。ブロック4が、東西の馬草。ブロック5が、山ノ神、仁崎、ほると台。このような地区から、それぞれ代表を出していただくと伺っております。 以上ですが、野田中学校のPTA会長さん、もし補足がありましたらお願いします。
河合委員	野田中学校PTAです。よろしく申し上げます。 先ほど校長先生から御説明いただきましたけれども、先ほどのブロック分けにつきましては、一応現状というか、来年、田原中学校に行く生徒のそれぞれの地区の人数を見て、でこぼこありますけれども、その辺を勘案して、先ほど報告いただきました地区割にさせていただいております。 多分、先々生徒の人数のバランスというものは、大分変わってくることも想定されますので、当面のスタートとして、こういった地区割をさせていただきますけれども、

	一定の状況を見ながら、この地区割りについては見直しを図っていく必要があるだろうと考えています。 簡単ですが、以上です。
委員長	ありがとうございました。 それでは、次に閉校行事等検討会の報告をお願いいたします。
野田中学校長	それでは、続けて閉校行事等検討会の内容を報告いたします。3 ページ (3) の部分をごらんください。 閉校記念式典につきましては、先ほど報告させていただきましたので割愛し、それ以外について報告いたします。 まず 3、受入式ですが、閉校記念式典を 3 月 15 日に野田中学校で行い、そして在校生の修了式を 3 月 24 日、3 月末日をもって野田中学校は閉校となります。 田原中学校では 4 月 7 日に入学式・始業式が行われます。現野田中学校の 1、2 年生、進級したときには、中学 2 年生、中学 3 年生になる子どもたちが、入学式・始業式の前日の 4 月 6 日に田原中学校へ行き、そこで受入式をしていただいた後、田原中学校の生徒としての学校生活が始まる予定です。先日、受入式の案について学校にいただきまして、受け入れの準備を整えてくださっていることが伝わってまいりました。子どもたちのバス通学は、この 4 月 6 日からスタートする予定です。 次に、4、通学体制ですが、これについては、後ほど説明がある部分は割愛して、校区と田原中学校と相談しながら進めている部分を御案内いたします。 内容は、馬草口から始まって、今方にバス停が新設され、野田、それから仁崎口、吹上とバス停が順番にあります。そのバス停に子どもたちが徒歩で来る、または自転車で来るなど、いろいろな通学方法をとることが予想されますので、それぞれのバス停を利用する子どもたちの数の調査をかけていただいて、駐輪場の整備を検討していただいております。 この駐輪場については、4 月のスタート時点は、まだ完全な形にならないところもあるかとは思いますが、子どもたちが自転車を置きやすいようにということで、現在中学校で使っている自転車置き場の載せ台に自転車を置いて、また必要であれば鍵などもかけて、盗難やいたずらなどが未然に防止できるような形にしていくのがよいのではないかと相談しております。 現在中学校にある自転車置き場の載せ台については、使わなくなるので、教育委員会に相談したところ、駐輪場で活用していただいて結構ですというお返事をいただいておりますので、また駐輪場に時期を見て校区で運んでいただいて、子どもたちが自転車置き場としてうまく使えるように配慮いただければと思っていますところ。 通学体制にかかわって、先ほど田原中学校の校長先生からも御案内がございましたが、子どもたちは、これまでバスを使って移動することに余りなれておりませんので、3 月 16 日に田原中学校の交流会にお邪魔する折に、教育委員会に調整していただいて、実際に路線を走っている豊橋鉄道のバスを使って乗車訓練、それから乗車に係る安全指導、マナー指導などを行った上で、実際にバス通学になれるための訓練の場を

	設けることにしました。そして、セントファールの田原萱町バス停でバスをおりて、田原中学校にお示しいただいた徒歩の通学経路を確認しながら、実際に歩いて田原中学校まで行き、4月からの通学の経路について、子どもたちと一緒に確認する作業を、この日に行う予定です。 また、通学に係る定期等については、教育委員会で検討しているということです。 次に、5、備品等の整理に関するところですが、先ほど説明したところは省略しまして、文化財のところをごらんください。 学校の中にも、さまざまな文化品がありますが、8月に、文化財について一度点検をしていただきました。これは市で所蔵していただいたほうがいいとか、文化的な価値があるので収納しましょうというようなものを選別していただいておりますので、3月15日の閉校記念式典が終わった後以降で日程の調整をしながら、市に所蔵、収納していただくような文化品などは、順次運び出して、保管、保存をしていただくように手配してあるところです。 また、統合に伴っては、種々予算が必要ですが、先ほど報告させていただいたリーフレット、クリアファイルの作成等で、既に予算の執行をさせていただいておりますし、子どもたちの活動に当たって、交流用のバス、部活動体験時のバスなど、用意していただくところでも、予算については、既に使途をさせていただいているところです。 以上簡単ですが、閉校行事等検討会の中身について報告いたします。
委員長	ありがとうございました。 ただいま、交流検討会を初め、三つの検討会から報告がございました。 御質問等、おありになる方は見えますでしょうか。 特にないようですので、次に、田原中学校への通学アンケート結果、それから田原中学校への通学方法について、説明をお願いいたします。
事務局	(資料3、資料4-1、資料4-2により説明)
委員長	ありがとうございました。 今、通学方法について説明がありましたが、登校時、仁崎発田原中学校行きの増便バスに全員が乗り切れない可能性がある、こういうことがあって、PTAの方々いろいろな想定していただきながらの検討をしていただいております。 現在の考え方について、副委員長である、また野田中学校PTA会長から、考え方についての説明をお願いしたいと思います。
河合委員	それでは、委員長からありました件につきまして、若干説明させていただきます。 先ほどありましたように、登校時に1便増便していただくということでございますが、実際には、来年、野田から通学する生徒、現時点の生徒数では76名の予定です。実際、用意したバスが70人乗りということでございますが、いろいろ荷物をたくさん持って乗車するだとか、そういったことを考えますと、実際にやってみないと正直わかりません。50人ぐらいで現時点は想定して、いろいろ検討しています。そういう状況ですので、20名強の生徒は、そこに乗れないという状況であります。 先ほど御説明いただきましたアンケート結果も参考にさせていただきながら、野田

	小学校の P T A 役員と一緒に、いろいろな議論をしてきております。ただ、正直、現時点で、まだこういった方法でいいのではないかという、いい案が整理し切れれておりません。いろいろなことを考えて、皆さんに納得いく案は何かというところでいろいろ議論しているわけですが、やはり一方を立てると、こちらが立たないとか、そういったことが非常に多くあります。 それと、先ほどアンケートの中にありましたように、現時点で 12 名の方が自転車通学を一応希望されてみえるということでございますけれども、実際に 4 月から通学がスタートして、最終的に自転車の通学を選択される生徒が何人になるかというのも、正直見えていない状況でございます。ただ、わからないから、このままずるずると行ってしまうということは、4 月に入って生徒が困惑してしまうこととなりますので、2 月、3 月まで、なるべく早い段階で小学校の P T A 役員の皆さんとも協議した上で案を提案させていただく予定です。 その案については、対象となる保護者の方に集まっていただいて、説明させていただく機会も設けて、理解していただくような場を持ちたいと考えておりますので、きょうの時点は、こういった内容にとどめさせていただきたいと思っております。 それと、もう 1 点、少しおつなぎをしておきます。 先ほど A 3 カラー刷りの資料があったかと思いますが、実際に、この時刻表 (案) の朝練登校を見ていただきますと、芦からぐるりんバスを使って路線便に乗り継ぎをする生徒については、時間的に今、この増便のバスに乗れない状況でございます。 そういった中で、やはり一部の保護者からは、一部の生徒だけ増便に全く乗れない状況があることは解消してほしいという強い意見も出ている状況ですので、これについては、バスの時刻、運行の改定というのは、当初からも検討していくと聞いておりますので、その辺については、ぜひとも考慮いただいた上で、今後の検討に反映していただければと思っております。
委員長	ありがとうございました。 今の芦地区の生徒が仁崎発の増便分に、朝練の場合に乗れないことについて、今までの経過等、いろいろあるわけでございますので、経営企画課長から説明をお願いしたいと思います。
経営企画課長	今、委員から、いろいろなことで苦労されながら、とりあえずの計画というような形のお話をいただいたのですが、過去にもいろいろな経緯があって、例えば仁崎を優先してほしいとか、いろいろな経緯の中で、今回、こうさせていただきました。 結論から申し上げますと、大変申しわけないですが、4 月 1 日には、今ここでお示したダイヤでお願いしたいと思っております。ですが、先ほど委員がおっしゃられたように、今後の検討の中で、こちらを立てればこちらが立たないというような、いろいろな意見があるかと思っておりますので、それらをしっかり検討させていただいて、芦地区の生徒も乗れるようにと話が決めれば、市もバスのダイヤ等を踏まえて対応したいと思っております。 とりあえず、申しわけないですが、今決めてあるダイヤを改正するとなると、

	市の公共交通会議、あるいは、そこから運輸局への許認可関係がありますので、スケジュール的にも間に合いそうもないということでございます。ですので、一度 4 月 1 日からは乗ってみていただいて、恐らく今お話の中で、芦以外のところにも、いろいろな問題がひょっとしたら出るかとは思いますが、それらを踏まえて、野田地区に設置してありますバスの公共交通利用推進協議会で改正、改善をしていければと思っております。
委員長	ありがとうございました。 今、野田の公共交通利用推進協議会でも、今後話題にしていくということなのです。校区会長からコメントがありますか。
校区会長	平成 27 年 10 月から、ぐるりんバスの改定を行いまして、その後、運行経路等も大分変わって、私のところ、市民館にも、いろいろな方が利便性について改善してほしいというようなことも伺っております。 現在のぐるりんバスは、野田の中を循環するというのと、そして野田小学校の通学に使っていただいているというようなことでございます。4 月からは、これが中学校の路線バスとのつなぎにというようなことで、いろいろ時間帯等も今までに検討したわけでございますけれども、今、河合委員、そして経営企画課長から言われたように、時間的なずれがどうしても生じているということでございます。 そういうことも私の耳に入っておりますけれども、まだ実際に、ぐるりんバスを使っている通学は 4 月からでございますので、今、経営企画課長から言われたように、4 月から、まず運行する。そして、利便性の悪いところは、野田の公共交通利用推進協議会の皆さん方で議論していただく。これは通学だけではなくて、やはり野田地域の足ということも兼ね備えておりますので、そういう点も見ながら、検討するべきところがあれば検討し、そして田原市にお願いし、公共交通会議で、また改善していただくことになるかもしれませんけれども、その辺は皆さん方の声を聞いてと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。 以上です。
委員長	ありがとうございました。 ここまでで、御意見、御質問等ございましたら、委員の方からお願いします。
河合委員	先ほどのぐるりんバスの関係ですけれども、当然、先ほどのいろいろな手続があるということと、当然、中学校の通学だけでダイヤを決められる話ではないというのは十分承知しています。 仮に、ダイヤの見直しをする場合に、最短でといいますか、見直しというのは、いつぐらいにできる可能性があるのか、もしわかれば教えていただければと思います。
校区会長	まず校区としては、4 月から始まれば、4 月、5 月、ふた月ぐらいを見て、ある程度、内容的なものはわかると思っておりますので、ふた月ぐらいをまずめどに、いろいろな御意見があれば、この野田の中の公共交通利用推進協議会を開催して、まず意見の取りまとめをしたいと、私のほうでは、今、考えております。まず、ふた月ぐらいは少し様子を見て、いろいろな御意見を聞きたいと思っております。

委員長	ありがとうございました。 ほかにいかがですか。どうぞ。
委員	帰りのバスですけれども、きょう少し乗って見たのですけれども、赤羽根行きのバスもまざっているのです、それには乗らないように御指導をいただけたらと思います。 みんな大勢で乗るときはいいのですけれども、万が一おくれた場合に、違うところに行ってしまうかなと思いました。
委員長	校長先生から、今の件について、お答えは何かありますか。
野田中学校長	2月24日に、豊鉄バスと野田校区の子どもたちが、これから公共交通、バスを利用するに当たって、子どもに配慮していただきたいこと、逆にまた、子どもが利用するに当たって注意したほうがいいことなども含めて、意見交換したり、要望をしようと思っています。支線と本線を間違えてしまうと大変なことになるので、そのことも含めて、子どもたちがうまく区別できるような何らかの手立てを講じていただければ、少し相談をかけてみたいと思います。それが難しいならば、表示をきちんと確認して乗るということを事前指導で徹底しなければいけないと思いますが、一度、これを検討課題として、豊鉄バスとの打ち合わせに出してみたいと思います。
委員長	ありがとうございました。 ほかにいかがですか。経営企画課長。
経営企画課長	先ほど校区会長が、4月、5月に、そこで野田の推進協議会として、このような改善をとというような要望をいただいた場合、市では、定例で6月ぐらいに公共交通会議がございます。そこで、市としては行けますというような形になって、その後、運輸局に許認可という手続になりますので、そうすると夏休みにそのまま入ってしまいますので、そこで、次はいつからにするかという話になるかと思います。ですので、最短でも、恐らく切りのいいところで、例えば2学期からだとか、そういったスケジュールになるのかなと思います。 また、詳細につきましては、校区会長、あるいはPTA会長とか、いろいろな方と少し調整しながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。
委員長	ありがとうございました。 そのほかの御意見、御質問はございますか。
委員	私は、実際に乗ってはいないのですけれども、少し耳にしたことをお伝えします。下校の運行ですけれども、豊鉄バスで野田バス停に着き、ぐるりんバスを待っていましたが、ぐるりんバスが先に行ってしまったことがあったようです。たまたまの例で、子どもたちは家に電話して迎えに来てもらったり、お年寄りの方もタクシーをそこから呼んだなどの話を聞くので、多分路線バスがおくれてきて、ぐるりんバスは時間どおりに出てしまうという感じだと思うのですけれども、それが、どのぐらいたくさんあったとか、それはわからないのですが、そういうのをちらちらと耳にしたことがあるので、ぐるりんバスの融通がつけば待っていることができるのかなと思いました。やはり路線バスはおくれることが多いと思うので、その辺の乗り継ぎはどうですか。
委員長	路線バスがおくれた場合、ぐるりんバスは待っていてくれないかということなので

	すけれども、どうでしょうか。
経営企画 課長	難しい問題なのですけれども、改善策として無線をつける計画をしています。ですので、運転手同士で少し調整していただいて、ぐるりんバスと本線の乗り継ぎができるような格好で、生徒が待たないように心がける、そういった予定をしています。
委員長	ありがとうございました。 そのほか、御質問、御意見などございますでしょうか。 それでは、3、その他でございませぬけれども、事務局、何かありますか。
田原中学 校長	野田中学校のホームページが、立ち上がっているのですが、閉校になったときに、このホームページを残してほしいという声を聞いています。サーバーに3月末時点の野田中学校のホームページを生かしてもらって、田原中学校のホームページからアクセスできるようにするのがいいと思っていますので、その辺の検討をお願いしたいと思います。
事務局	今の状態のホームページでいいですね。 一度、情報担当と相談します。
委員長	それでは、その他、ほかにはございませぬか。 きょう、教育部長が見えておりますので、一言、御挨拶をお願いします。
教育部長	野田中学校の統合準備委員会、最後に当たりました、教育長が来て、ここで皆さん方にお礼を言うのが本来なのですけれども、所用がございまして、私がかわってお礼を申し上げたいと思います。 2年間、いろいろな課題について、統合に向けての議論をしていただきまして、本当にありがとうございました。あらかたの課題につきましては、いい方向に進んでいるのではないかと考えております。この4月には、子どもたちが笑顔で田原中学校へ通えるのではないかと考えております。 ただ、先ほども課題が少し残っておりますし、また新たな課題が出てくるかもしれません。これにつきましては、PTAの方々、学校、それから校区の方々とは相談しながら、御協力いただきながら、解決に向けて努力してまいりたいと思いますので、今後とも御協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。本当にありがとうございました。
委員長	ありがとうございました。 それでは、この4月から、いよいよ田原中学校に統合というようになります。統合に向けて、おおむね3か年、長い期間、たくさんの皆様に御尽力いただきました。感謝いたします。特にPTA委員の皆さん方には、保護者の意見の取りまとめ、あるいは、調整、こういったことに大変御苦労されたのではないかと思ひます。大変お疲れさまでした。御協力ありがとうございました。 以上をもちまして、野田中学校統合準備委員会を閉会といたします。遅くまで御苦労さまでした。